

まんだら遊苑へ行ってきました!!

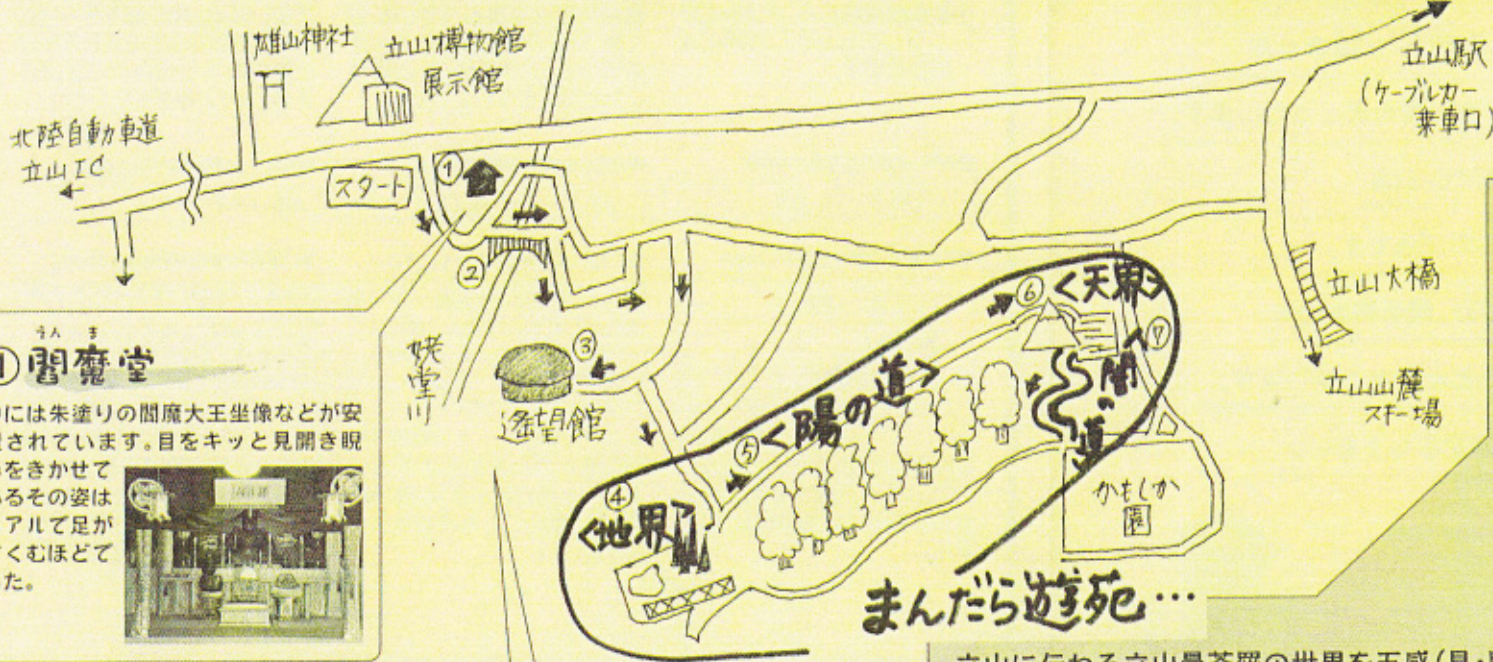
●どんなところ?●

立山開山のいわれや、立山信仰やその布教に用いられた立山曼荼羅、そして立山の自然を広く紹介する施設として立山山麓にできたのが、「立山博物館」。展示館・遙望館・まんだら遊苑の3つから成っています。体験型施設ということなので、10月某日の秋晴れの日に行ってきました!

■アクセス：北陸自動車道立山ICより車で30分

③ 遙望館

外観はドーム状ですが中はスクリーンと36畳の大きな広間の映像ホール。まず、岸田今日子さんの語りて立山地獄の紹介。とてもリアルな映像でびっくりして。その後、立山一帯の四季がきれいな映像で紹介されていてつい引きこまれてしまいました。最後には壁が大きく開いて、秋晴れの中の立山が表れ、その神々しさに感動しました。



① 閻魔堂

中には朱塗りの閻魔大王坐像などが安置されています。目をキッと見開き睨みをきかせているその姿はリアルで足がすくむほどでした。



② 布橋と「布橋灌頂会」

カラーでお見せできないのが残念なくらい、緑の中に赤色が映えてきれいな橋です。女性の立山登山が禁止されていた時代、その名のおり橋に布をしき、白装束に目隠しをした女性がその上を歩くことによって立山登山を同じご利益を得られる...という「布橋灌頂会」の儀式が行われていました。今年の9月24日にこの儀式が再現されました。今日では「いやしの行事」として多くの女性が参加するそうです。



⑤ 陽の道...

「天界への道」がテーマ。自然の豊かさを感じられる「水辺の道」と立山登山をミニ体験できる「立山登拝の道」の2つのコースがありました。



▲ケーブルカーの料金を再現した材木版

⑥ 天界...

「浄土」がテーマ。中でも写真にある「奏楽堂」では8種の天の楽器をたたいて体験できて、天女になった気分♪になります。また天至界は「胎内」をイメージしていて大きな玉子型のオブジェの中に入ると瞑想することもでき、心落ちつくひとときが心地良かったです。



④ 地界...

まんだら遊苑の出发点。写真にあるような針山や閻魔堂、血の池が点在し、またうめき声もひびきわたって地獄を思わせる仕掛けがリアルでした。



⑦ 響の道

扉をあけると中はまっ暗!! 「天界から現実への回帰」がテーマで、暗い中、砂利や香りで様々な体験ができました。